

渡辺ハウジングOBの皆様と
来客のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



関東地方も梅雨入りをし、
しばらくの間は気まぐれな
空模様とにらめっこの日々
が続きそうです。

しとしとと降り注ぐ雨は、

樹木や大地を潤し、特に農作業に関わる方たちにとっては大切な雨ですが、反面、湿気によるカビや異臭の発生、食中毒、洗濯物がなかなか乾かない・・・等など生活面では憂鬱な時期が続きます。

また、降らなければ水不足も心配と
いろいろ気掛かりです。



こんな時は、読書や音楽でリフレッシュ。

普段のお疲れを癒す貴重な時間かもしれませんよ。

季節の変わり目は何かと体調を崩しがちですが、いつも以上に体調管理をしっかりして、暑い夏を迎えるための体力増強に備えましょう。

どうぞお元気でお過ごしくださいね！



大切な家づくりの流れ

7. 造作

造作(ぞうさく)とは、柱、梁などの主要構造部以外の仕上げ工事の総称です。

建築内部の、主に天井、壁、床、階段、棚のほか、和室における敷居、鴨居、框(かまち)や長押(なげし)、又、洋室においては、窓枠やドア枠など大工による工事部位のほか、お施主様の希望サイズにあった様々な造り付け家具、出窓のカウンター・・・等など現場で加工・取り付けをする工事をいいます。

どの部分も、普段の生活に密着した場所ばかりで

常に目に触れることが多いため、最善の注意を払って作業をします。



どの家も自分が住むつもりで、
安全はもちろん快適なお住まい
づくりを目指します。

その点、当社の大工さんたちは皆、仕事が第一の趣味という人ばかりですから安心してお任せ下さいね。

「お施主様に喜んでいただける家を造ること。

お施主様の笑顔が当社の勲章」を

モットーに日々頑張っています。



これからもよろしく願いいたします。

「お中元」

暑い夏に相手の健康を気遣い、日頃の感謝を伝えるお中元。

お中元を贈る時期としては、先祖を供養するお盆と合わせて、関東では7月1日から7月15日までに贈ります。7月15日を過ぎたら熨斗紙に「暑中お見舞い」、目上の方には「暑中お伺い」と記します。

立秋を過ぎたら「残暑お見舞い」としましょう。

関西では7月16日から7月下旬までに贈りますが、地域によっては8月初旬から8月15日までに贈る場合もあるようです。

最近では、配送で送り合うのが主流となったお中元ですが、お礼や感謝の気持ちをカードや手紙に書き添えるだけで贈り手の気持ちが一緒に届きますね。

また贈り物は受け取った相手が不快にならないよう配慮することも大切です。

何を贈ればよいのかも大きな悩みどころですが、感謝の



気持ちを伝えると同時に、相手に涼しさも伝わる贈り方ができれば素敵ですね。

キャリア時計って？



「年齢を 3 で割るとその人のキャリア時計になる」という話を聞きました。

今の年齢を三分の一にした数字は、人生を一日で表した時の現在時刻を表しているという話です。

24 歳の人 8 時、42 歳の人 14 時、60 歳の人 20 時・・・という感じになります。

あくまで例え話ではありますが、今の自分が何をすべきなのか、どういう風に周りから見られているのかを再認識するのにイメージしやすいかも知れませんのでちょっとご紹介しますね。

「18 歳＝6 時」

朝 6 時です。一日はまだ始まっていません。これからの活動に備えしっかりと体力を蓄える時間です。この場合の体力とは、学生時代に学ぶ知識や若い頃にしか味わえない貴重な体験に例えられます。

「24 歳＝8 時」

8 時、まだ会社は始まっていません。でも仕事の用意は始めなければならない時間帯です。一日を元気に働くために朝食をとったり、人と会うために身だしなみのチェックをしている時間でしょうか。この場合の仕事の用意とは一流社会人として活躍するための用意のことです。この時期は、ビジネスマンとしての土台作りをしていかなければならない時期ですので焦らずにしっかりと基礎固めをすべきなのでしょう。

「30 歳＝10 時」

始業の時間です。朝礼が終わり本格始動している会社も多いのではないのでしょうか。本格始動とは社会人としてひとり立ちすること。この時点でまだ仕事の用意をしている人は、もしかしたら遅刻かもしれませんね。

「36 歳＝12 時」

ランチタイム。多くのビジネスマンが一息つく憩いの時間です。この年齢まで無我夢中だがむしゃらに仕事に取り組んできた方もいらっしゃるかもしれません。そんな方はこの辺で一度自分を振り返ってみるのも良いかもしれませんね。

「42 歳＝14 時」

一日の中で一番仕事盛り上がる時間帯です。工場なら機械がフル稼働し、営業マンなら訪問先で商談を進めている時間帯ではないでしょうか。つまり一番輝く時期といえます。きっと今まで苦勞して積み重ねてきた経験と知識があらゆる場面で発揮される時期だと思います。

「51 歳＝17 時」

そろそろ終業の時間が近づいてきています。今日の仕事は何処までにするかを見極め、明日の準備にも取り掛からなければなりません。終業の時間は引退の時期です。やり残していることがあれば、そろそろピッチを上げて取り掛かり、明日の準備は次の世代への引き継ぎを表しています。

「60 歳～＝20 時～」

そろそろ帰路につかなければならない時間です。家族が待っている方も多いでしょう。深夜作業に突入している方は引き継ぎ資料を残し、戸締りを確認して帰らなければなりません。頃合いを見て引退の準備を始める時・・・今やるべきことは自分自身が得た知識や経験を若い方々に確実に伝えることかもしれません。それが戸締り確認です。



さて皆さんの年齢は？

一日をより良いものにするためにも、今自分が何をすべきか考えるヒントになれば幸いです。

「編集後記」

1 年を通じ最も嫌われる梅雨の時期を迎えました。

しとしとジメジメの長雨は嫌なイメージばかりですが、私たちの生活に密着した大切な資源でもあります。

感謝しなければいけませんね。

水と同様に時間は誰にでも平等に与えられた貴重なもの。その使い方次第で有効にも無駄にもなってしまいますので自分自身でしっかり管理したいと思います。

今月号もお読みいただき有難うございます。

※「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

また、ご不要の方もご一報ください。



編集責任者

渡辺 田鶴子